



五感が喜ぶ

はままつ  
田舎

アソビ

大地を潤し生命をはぐくむ清らかな天竜川、見渡す限り広がる天竜美林、そして心穏やかな里人たち。長野と愛知の県境に隣接する浜松市天竜区は「北遠」(遠州の北の意)と呼ばれ、今なお田舎の原風景が凜として残存する。耳を澄ませば鳥のさえずりや川のせせらぎが聴こえ、手を伸ばせば悠久なる自然の恵みを容易に享受することができる。浜松市域の約6割を占め、その半分以上が森林に包まれる広大なエリアなのだ。

ここには都会のような派手さや便利さはない。しかし、自然と共存する場所だからこそその感動には事欠かない。食、住、遊び、癒し……。ここにいるだけで、五感が研ぎすまされ、心が動かされていく。現代人が忘れてしまった大切なこと、お金では買えない経験、生きるということの真の価値。そんなものが隠されているようにも思える。

日常の中の非日常を求めて、こゝへ、田舎へ。

思えば遠くに  
来たもんじゃ

